

IV 経営改善策

2. 個別課題への対応

⑤ その他の低稼働地区 (A・B地区、I地区、Q地区)

位置図



拡大図



IV 経営改善策

2. 個別課題への対応

⑤ その他の低稼働地区 (A・B地区、I地区、Q地区)

各埠頭の役割

- A・B地区は、内貿の定期航路を優先する埠頭である。
- I地区は、外貿雑貨取扱機能の強化、特にコンテナフィーダー機能の強化を目的とし、コンテナ貨物の集荷、荷役を行うための埠頭として整備された。
- Q地区は、コンテナへの荷詰め荷出しのための高床式上屋であるQ上屋（南港外貿雑貨センター）とその周囲の荷さばき地からなり、コンテナ物流の集荷・配送の拠点となっている。

収支分析などから導いた課題

- A・B地区、I地区及びQ地区は、稼働率 (A・B地区：88.0%、I地区：77.4%、Q地区：71.6%) は全体的に低いものの、他地区と比較して補修費が高くなっている。

A・B地区

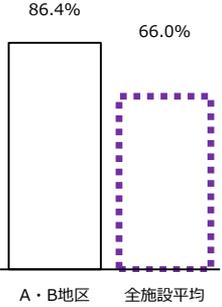
I地区

Q地区

H30収支 (単位：百万円)



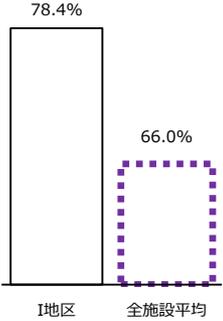
H30稼働率



H30収支 (単位：百万円)



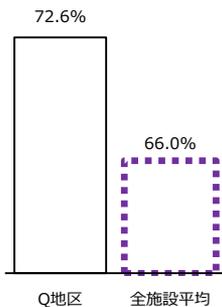
H30稼働率



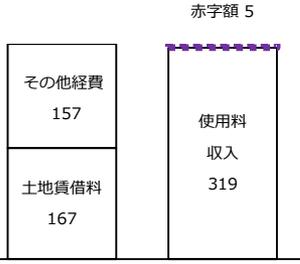
H30収支 (単位：百万円)



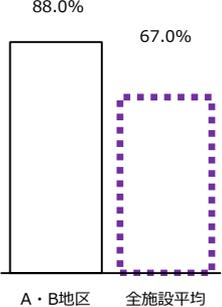
H30稼働率



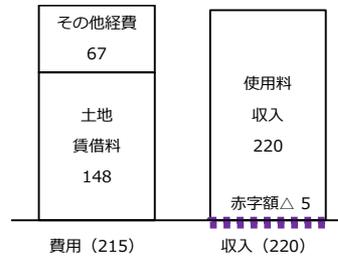
R1収支 (単位：百万円)



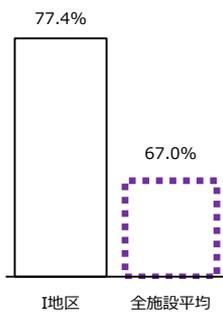
R1稼働率



R1収支 (単位：百万円)



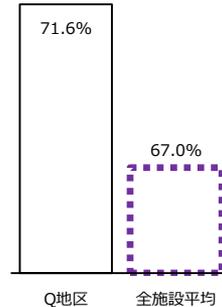
R1稼働率



R1収支 (単位：百万円)



R1稼働率



課題解決のための「経営改善策」

(中期的取組)

- 新たな事業者の掘り起こしを重点的に行うことにより、収支の改善を図る。